

久喜市議会
令和3年9月定例会
議員提出議案質疑通告

令和3年9月30日（木）

質疑通告者一覧

【意見第 9 号 再生可能エネルギー主力電源化の実現を求める意見書】

通告第 1 号 園 部 茂 雄 議員	1
通告第 2 号 鈴 木 松 蔵 議員	1
通告第 3 号 並 木 隆 一 議員	1

○ 通告第 1 号 園部 茂雄 議員

(1) 欧州の再生可能エネルギー割合が高く、デンマークやスウェーデンは 100%再生可能エネルギーを目標にし、コスタリカやノルウェーは既に 100%の再生可能エネルギーを実現していると明記されているが、これらの国の電力事情(国内電力需要の占める電力割合)を伺う。

また、電力目標を 2030 年に 60%以上、2050 年 100%とした根拠と、デンマーク、スウェーデン、コスタリカ、ノルウェー等の電力事情から、日本と比較して、目標値が達成可能と思うか伺う。

○ 通告第 2 号 鈴木 松蔵 議員

(1) 再生可能エネルギー主力電源化とはどういうことか伺う。再生可能エネルギーを多く使用し、石油、石炭、天然ガス、原子力の使用を廃止、あるいは減少していくということでのよいのか。

(2) 主力電源化することによってどんな効果を期待しているのか。

(3) 再生可能エネルギーは太陽まかせ、風まかせである。安定供給に不安がある。主力電源化は不可能ではないか。

(4) 電気料金が高騰する心配がある。日常生活、産業界に大きな影響があると思われる。どう認識しているか、伺う。

(5) パリ協定による各国の CO2 削減目標は自己申告で各国の目標であり罰則はない。中国は世界の 30%の CO2 排出国であるが、2030 年には、さらに 10% (これは日本の全排出量 12 億トンと同じ)増やすとしている。さらに世界に石炭火力発電所を次々建設している。どう認識しているか、伺う。

○ 通告第 3 号 並木 隆一 議員

(1) 「日本でも今後、太陽光や風力発電が最も低コストの電源になると試算されており、急速なエネルギーシフトが進むことは確実です。」としておりますが、太陽光発電の設置費用が低コストになるという根拠をお示しください。

(2) 「2030 年エネルギー基本計画で再生可能エネルギーの電力目標を 60%以上、2050 年度 100%にすること。」としておりますが、太陽光発電、風力発電とも、天候に左右され、出力が変動することにより、系統の周波数が変動し、電力の安定供給に問題が発生する可能性があります。どのように対処すべきとお考えか伺います。

(3)「国は、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギー主力電源化の実現に向けた推進と政策転換を早急にすすめること。」としております。二酸化炭素を多く排出する石炭火力発電は削減されますが、二酸化炭素発生が少ないLNG発電はどうなのでしょう。

温室効果ガスの削減に向け、高温ガス炉と言われる次世代型小型原子炉の研究もされておりますが、電力の安定供給に寄与すると考えますがいかがか。

その目的とするところは、脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現であり、二酸化炭素を吸収する森林の保護育成や、二酸化炭素を発生するガソリン車やディーゼル車から電気自動車、水素エンジン自動車へのシフトなど複合的に二酸化炭素削減に取り組むことであり、電力を再生可能エネルギーだけにすることに、不安を感じますが、いかがお考えでしょうか。